TOSHIBA

東芝車載用アンプ取扱説明書

CA−103C

このたびは東芝車載用アンプをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの車載用アンプを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

各部のなまえとはたらき

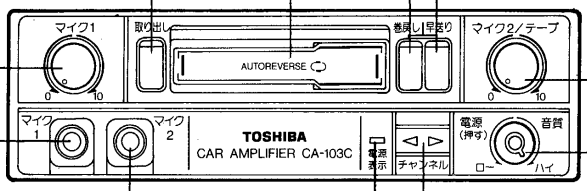
⑤カセットテープ挿入孔
カセットテープを挿入しますと電源スイッチがOFFでも自動的に電源が入り再生が始まります。テープの取り出しはイジェクトボタンを押してください。

④イジェクトボタン「取り出し」
カセットテープを取り出すときに押します。

③マイク1音量調節器

⑥巻戻しボタン（リバースボタン兼用）
再生中、巻戻しをするときこのボタンを押し込んでロック状態にします。停止するときには右側の早送りボタンを軽く押してください。
また、再生中このボタンと早送りボタンを同時に押しますと、チャンネルが切り換わります。

⑦早送りボタン（リバースボタン兼用）
再生中、早送りをするときこのボタンを押し込んでロック状態にします。停止するときには左側の巻戻しボタンを軽く押してください。
また、再生中このボタンと巻戻しボタンを同時に押しますと、チャンネルが切り換わります。



⑧マイク2・テープ兼用音量調節器

⑨音質調節器/電源スイッチ兼用ツマミ
押せば電源が入り、再び押せば切れます。
音質調節は右まわしで高音、左まわしで低音が強調されます。

②マイク2入力ジャック

①マイク1入力ジャック
（600Ω 不平衡） フェーダ回路付
テープ再生中にマイク1を使用しますと、テープの音量が自動的に減衰します。

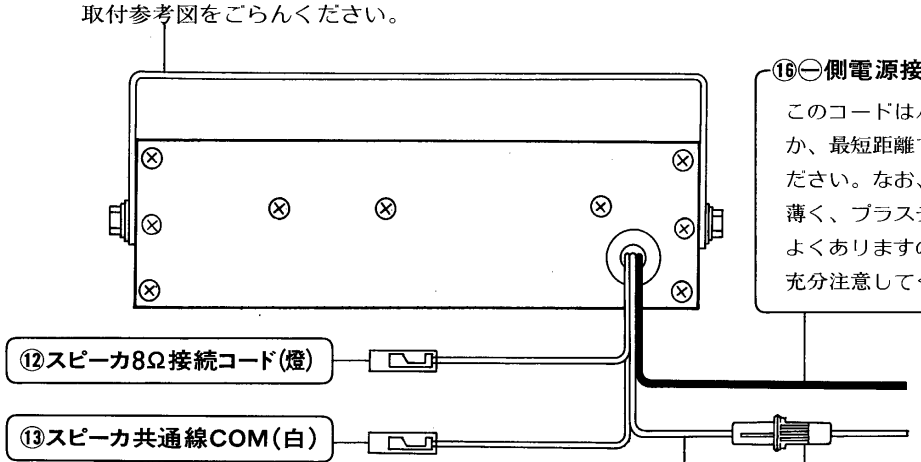
⑩チャンネル表示灯（緑）

⑪電源パイロットランプ（赤）

注）イジェクトボタンを押しカセットテープを取り出した場合でもチャンネル表示灯が点灯しているときは、イジェクトボタンをもう一度押しチャンネル表示灯が消えていることを確認してください。

取付金具

取付参考図をごらんください。



⑯⊖側電源接続コード（黒）
このコードはバッテリー⊖端子に接続するか、最短距離で自動車車体にアースしてください。なお、車種により金属部の厚みが薄く、プラスチックを多用しているものがよくありますので、車体アースする場合は充分注意してください。

⑫スピーカ8Ω接続コード（橙）

⑬スピーカ共通線COM（白）

⑭⊕側電源接続コード（赤）
このコードはバッテリー⊕端子に接続します。

⑮ヒューズホルダ
ヒューズを取り換える場合は、必ず規定のヒューズと交換してください。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

＜生産完了 2004年01月01日＞
CA-103C (1/8)

特にご注意を

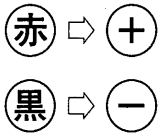
設置上のご注意

使用電源のチェックを!!

●本機は、DC12V⊖アース車専用です。
車に取りつける前にもう一度アンプと車の電源が合っているか確認してください。

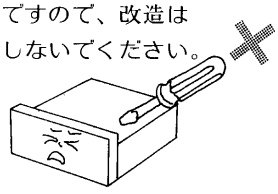
電源コードの極性に注意を!!

●電源接続コードは、赤が⊕、黒が⊖です。
電源接続には充分注意してください。間違って接続しますと、故障やヒューズの断線の原因になります。



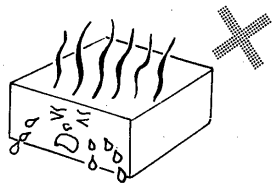
改造は絶対しないで

●危険ですので、改造は絶対しないでください。



高温や湿度の高い所はさけて

●ヒータの吹き出し口など温度の高いところには設置しないでください。
●できるだけ通風のよい場所に取りつけてください。



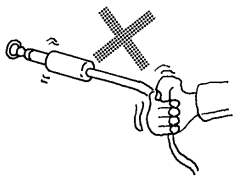
取付ネジは指定のものを

●取付に使用するネジは同梱の付属ネジを使用してください。付属以外のものを使用しますと、アンプ本体の故障の原因となります。

使用上のご注意

コードの抜き差しはプラグを持って

●マイクロホンジャックのコードを抜くときは、プラグを持って抜いてください。
コードを引っぱるとプラグの中で断線やショートの原因になります。

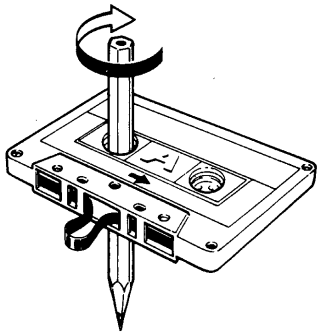


ツマミの操作はゆるやかに

●各調節ツマミの操作は、ゆるやかにおこなってください。
●使用しないときは、電源スイッチを必ず切ってください。

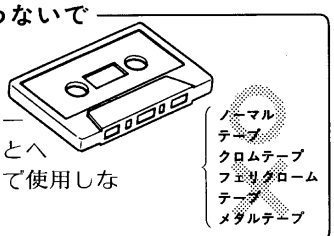
たるんだテープを入れないで

●カセットテープを入れる前にテープがたるんでいないことを確かめてください。もしたるんでいたら6角形の鉛筆などで図のようにたるみをとってください。



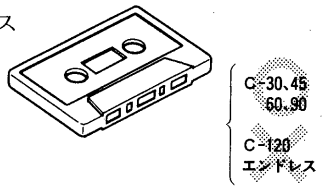
ノーマルテープ以外は使わないで

●使用できるテープはノーマルテープだけです。
●クロムテープ、フェリクロムテープ、メタルテープを使用しますとヘッドの寿命を著しく縮めますので使用しないでください。



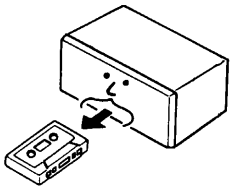
C-120テープ、エンドレステープは使わないで

●C-120およびエンドレステープはまきつきをおこすことがありますので使用しないでください。



使わないときはテープをとり出して

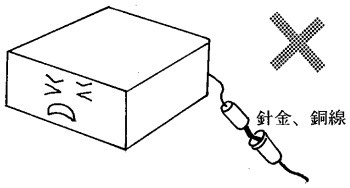
●使用しないときはテープをとり出しておいてください。
●テープをセットしたまま長時間おきますと故障の原因となります。
●イジェクトボタンを押しカセットテープを取り出した場合でもチャンネル表示灯が点灯しているときは、イジェクトボタンをもう一度押し、チャンネル表示灯が消えていることを確認してください。



ヒューズ交換のとき

針金や銅線は使用しないで

●交換するヒューズは指定のものを必ず使用してください。



お手入れ

定期的に清掃を

●テーププレーヤを長時間使用しますとヘッドが汚れ音質が悪くなり、音とびの原因となりますので、定期的に清掃してください。市販のクリーニングテープは再生状態にするだけで簡単にヘッドを清掃することができますので、ご使用をおすすめします。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、電源を切ってお買いあげの販売店またはお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝サービスステーションにご相談ください。なおご相談されるときは機器の形名(CA－103C)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。なお、ご相談される前にいま一度下表の項目を点検してください。

症　　状	点　検　項　目	処　　置
カセットテープを入れても動作しない	電源コードがはずれていませんか。	電源コードを接続してください。
音が全く出ない	音量ツマミが"0"の位置になっていませんか。	音量ツマミを右方向にまわし、適切な音量に調節してください。
音が小さい、ふるえている(回転ムラ)	テープが消耗していませんか	新しいテープと交換してください。それでも直らないときは販売店か東芝サービスステーションにご相談ください。
音質が悪い	ノーマルテープ以外のテープを使っていませんか。	ノーマルテープと交換してください。

使いかた

■マイク放送のしかた

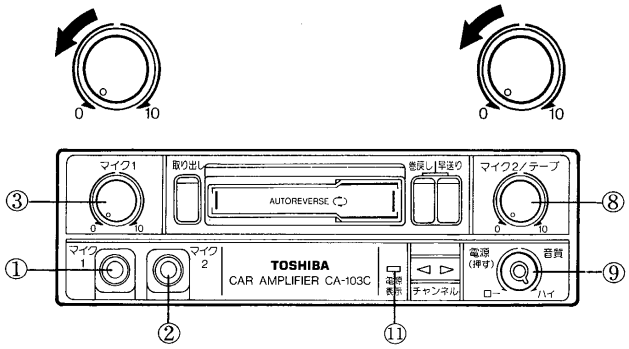
1．電源スイッチを入れる前に

- 音量調節器③、⑧、を左いっぱいに回してください。
- マイク１入力ジャック①または、マイク２入力ジャック②にマイクを接続してください。

2．電源スイッチ⑨を押して電源を入れてください。

- 電源パイロットランプ⑪が点灯します。

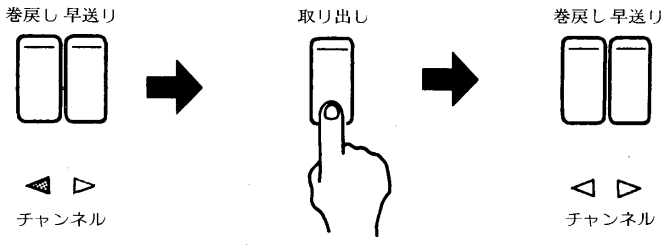
3．音量調節器③、⑧、音質調節器⑨、で適切な音量、音質に調節してください。

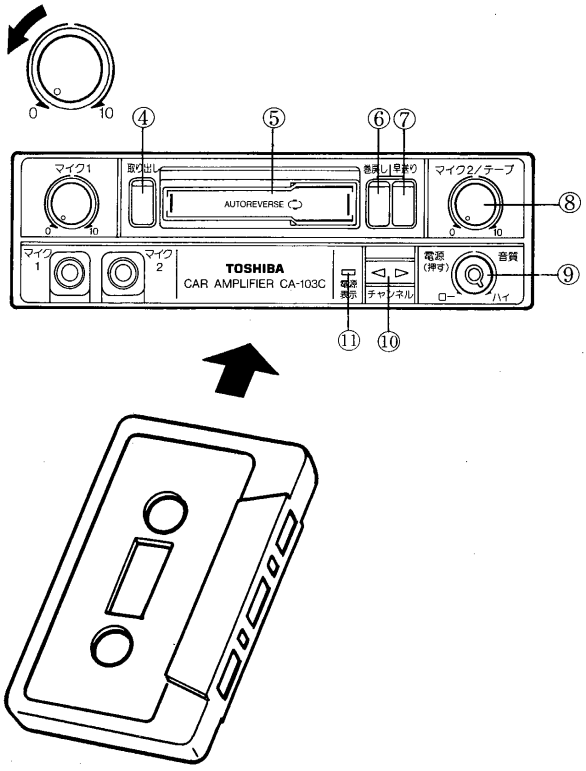


■カセットテープの使いかた

1．カセットテープを入れる前に

- 音量調節器⑧を左いっぱいに回してください。
- チャンネル表示灯⑩が消えていることを確認してください。点灯していましたらイジェクトボタン(「取り出し」)④を押してください。チャンネル表示灯⑩が消えてスタンバイ状態となります。





2．カセットテープをカセットテープ挿入孔⑤から差しこんでください。

- チャンネル表示灯⑩が点灯し再生が始まります。(電源スイッチがOFFでも、カセットテープを差しこむと自動的に電源が入り再生が始まります。)

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2004年01月01日>
CA-103C (4／8)

3．ご希望のチャンネルに合わせてください。

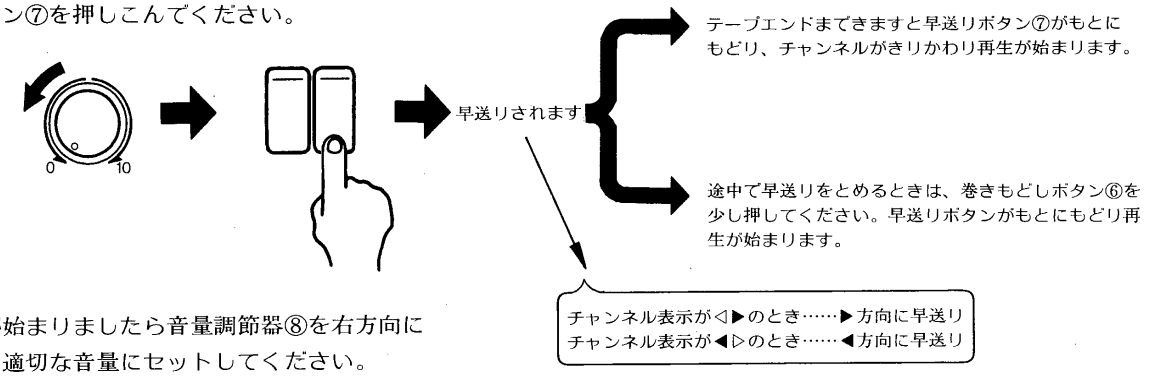
●巻きもどしボタン⑥と早送りボタン⑦を両方同時に押すとチャンネルがきりかわります。
●ご希望のチャンネルにセットしてください。

4．音量調節器⑧、音質調節器⑨で音量、音質を調節してください。

●テープエンドまできますと自動的にチャンネルがきりかわり、再生を継続します。

5．早送りするとき

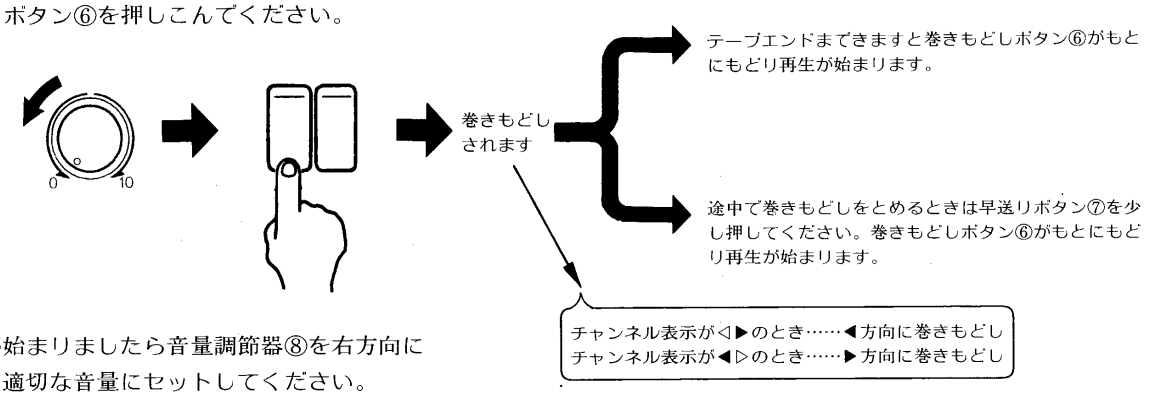
●音量調節器⑧を左いっぱいにまわし、次に早送りボタン⑦を押しこんでください。



●再生が始まりましたら音量調節器⑧を右方向にまわし適切な音量にセットしてください。

6．巻きもどしするとき

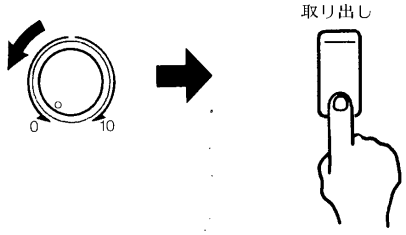
●音量調節器⑧を左いっぱいにまわし、次に巻きもどしボタン⑥を押しこんでください。



●再生が始まりましたら音量調節器⑧を右方向にまわし適切な音量にセットしてください。

7．使い終ったらイジェクトボタン（「取り出し」）④を押してください。

●使い終ったら音量調節器⑧を左いっぱいにまわし、次にイジェクトボタン(「取り出し」)④を押し、カセットテープをとり出してください。

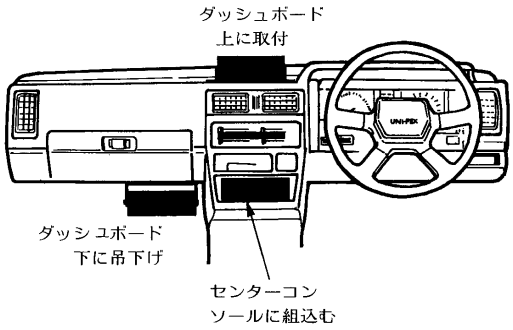


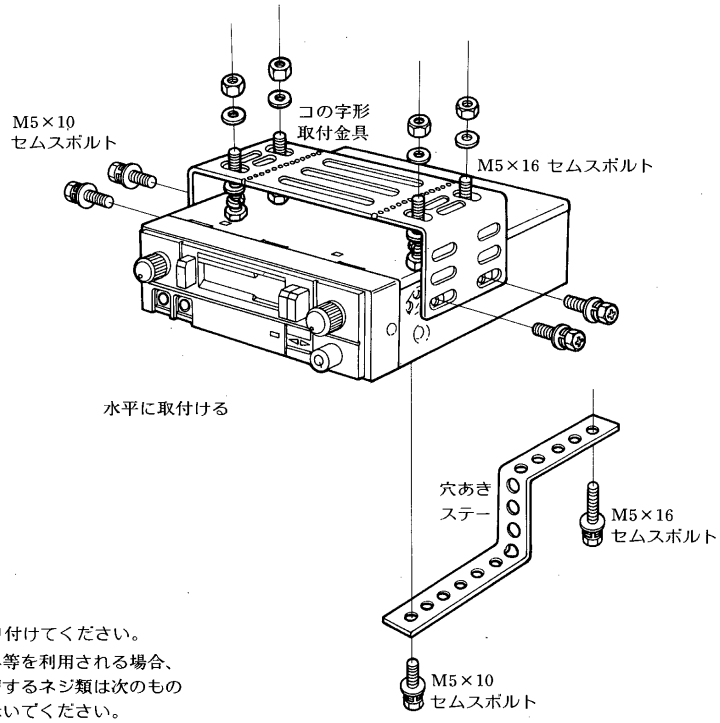
■フェーダ機能について

●マイク１の回路には、フェーダ回路がついています。マイク１で放送するとフェーダ回路が働きカセットテープの音量が自動的に低下し、音量をさげてやる手間が省けて便利です。マイク２の音量はさがりません。
マイク２の回路にはフェーダ回路がついていません。
●マイク１の放送が終るとカセットテープの音量は自動的に元に戻ります。

取付参考図

本機はカーステレオなどに、幅広く採用されているDIN規格サイズです。取付箇所は車種によって異なりますが、ダッシュボードやセンターコンソール内に組み込んだり、付属のコの字形取付金具を使用しダッシュボード下などに取付けることができます。

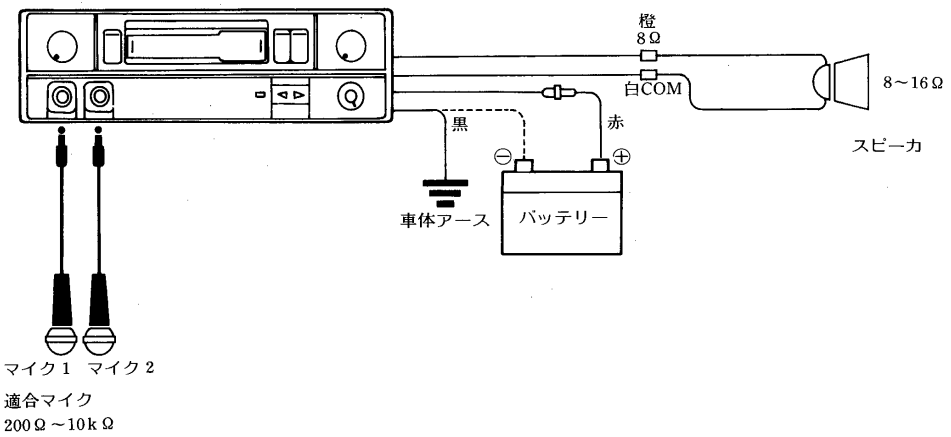




注）必ず水平に取り付けてください。
注）市販の取付金具等を利用される場合、
本機側面に使用するネジ類は次のもの
以外は使用しないでください。
・六角ボルト：M5×10（ただし、Sワッシャー、
平ワッシャーを使用すること）
・皿ビス：M4×6

接続のしかた

■接続ブロック図



注）・平衡、不平衡どちらのマイクも使用できますが、平衡マイク使用時でも、アンプ内部で不平衡接続となります。
・8～16Ω以外のインピーダンスのスピーカは使用しないでください。
・複数のスピーカを接続する場合は、合成インピーダンスが8Ω以下にならないようにしてください。

仕様

使用電源	DC10～16V(標準13.2V)12Vバッテリー
消費電流	1.5A
出力	定格10W　最大16W
出力負荷	8Ω
ひずみ率	5%以下
周波数特性	250Hz～10kHz　偏差±3dB以内
音質調節	10kHzにおいて－10dB(1kHz基準)以上
入力感度及びインピーダンス	マイク1 約－50dBs 600Ω 不平衡、音量調節器付 マイク2 約－50dBs 600Ω 不平衡、音量調節器付(テープ再生と兼用)
信号対雑音比	50dB(テーププレーヤ部を除く)以上
適合テープ	フィリップス型コンパクトカセットテープ(ノーマルテープ専用)
テープ速度	4.75cm/sec
早送り・巻戻し時間	約180秒(C－60使用時)
ワウ・フラッタ	0.38%　WRMS以下(水平使用)
回転部寿命	約1000時間
付帯機能	オートリバース・オートフェーダ機構、マイク1入力によりテープ再生音量減衰
動作表示	電源：発光ダイオード(赤)　チャンネル表示：発光ダイオード(緑)
使用温度範囲	－5℃～＋55℃
外装	パネル(合成樹脂) ケース(ビニールラミネート鋼板) マンセルN1　近似色 ブラック
寸法	幅178mm、高さ50mm、奥行174mm
重量	約1.1kg
付属品	ヒューズ(2A) 1 付属マイク 1 φ6.3　2P単頭プラグ 1 M5ナット 5 M5×10セムスボルト 5 M5×16セムスボルト 5 φ5×12平ワッシャー 5 コの字取付金具 1 穴あきステー 1 取扱説明書 1 接続コード 1 サービスステーション一覧表 1

TOSHIBA

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部 〒140 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル） TEL（03）5463−8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

2004年01月01日＞ (12126) A
CA-103C (8／8)